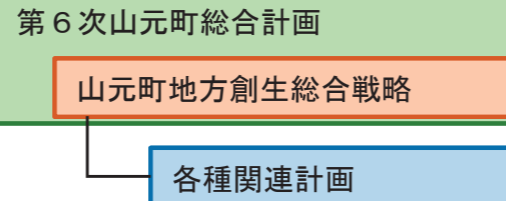




## 趣旨・位置づけ

国全体が人口減少社会を迎える中において、本町でも人口は減少傾向を続けており、本戦略では**人口減少問題を町民の皆様と認識を共有し、今後の本町の目指すべき方向性と人口の将来展望を示す**ことを目的とします。

計画期間は、令和3(2021)年度を初年度とする令和6(2024)年度までの4か年とし、まちづくりを総合的かつ計画的に進めるための指針となる第6次山元町総合計画と整合を図るとともに、各種関連計画を踏まえて策定するものとします。



## 山元町の現状

- **総人口は減少傾向**であり、年代別では65歳以上の高齢者人口割合が年々増加しており、平成27年には36.7%となっています。
- **合計特殊出生率**は平成20年～24の1.11まで減少傾向が続いていましたが、平成25年～29年には**1.29まで上昇**し、宮城県平均(平成25年～29年:1.35)に近づいています。
- **社会増減数**は平成10年以降転入数を転出数が上回る「転出超過」が続き、東日本大震災が発生した平成23年以降は転出超過の振れ幅が拡大しましたが、移住・定住施策が奏功し平成29年以降は**転入超過**の年も出てきています。
- 「子育てするなら山元町」をスローガンに移住定住施策に積極的に取り組んできた結果、令和2年度国勢調査人口は社人研準拠推計を上回る見込みで、推計よりも人口減少傾向が緩和しています。

## 長期的ビジョン

- 1 特性を活かした地域産業の競争力強化を行い、**安心して働ける就業環境を実現**します。
- 2 企業の地方拠点強化へ対応し、移住・定住を促進することで**新しいひとの流れを加速**させます。
- 3 **結婚・出産・子育ての希望をかなえられる環境づくり**に取り組みます。
- 4 ひとが集い、生活の利便性が高く、町民すべてが健康で安全・安心に暮らせる**魅力的な地域づくり**を目指します。

## 将来人口

【社人研準拠推計による  
令和42年(2060年)人口】  
対策を講じずに人口減少が進んだ場合、**4,342人(2015年人口12,315人の35.3%)**となります。



【令和42年(2060年)の人口目標】  
**目標人口6,400人**とします。  
合計特殊出生率を2040年までに1.3へと上昇させ、2060年まで継続させます。  
移住・定住施策により、新婚世帯、子育て世帯、新規転入者の流入増を図ります。

## 目指す将来像

本戦略では上位計画である「第6次山元町総合計画」と同様に、ここ山元において、町民みんながまちづくりに参加し、かけがえのない宝物のすべてとみんなの笑顔が、輝きあふれるようにと願いを込めて、まちの将来像を『**キラリやまもと！みんなで作る笑顔あふれるまち**』とします。

町民誰もが「山元町が好きだ」と心から実感でき、**すべての人がいきいきと暮らし、愛にあふれるつながりを大切に**するまちをつくることを目指します。

## 基本目標・具体的施策

「基本目標」については、「山元町人口ビジョン」を踏まえ、「総合戦略」の目標年次である令和6(2024)年度に実現すべき成果を可能な限り数値化し、目標を設定することとします。政策の進捗状況については重要業績評価指標(KPI)で検証し、改善する仕組み(PDCAサイクル)を確立していきます。

### 【基本目標①】

### 働きにぎわう山元町

富を生み出し、**安心して働ける地域**をつくる

- 【基本的方向】
- 特性を活かした地域産業の競争力強化
  - 安心して働ける就業環境の実現

【数値目標】(令和6年度)  
雇用者数: 3,700人



### 【基本目標②】

### 行きたい、住みたい山元町

**新しい人の流れを加速**させる

- 【基本的方向】
- 移住・定住の促進
  - 企業の地方拠点強化に対応する誘致環境の整備

【数値目標】(令和6年度)  
移住・定住者数(移住・定住支援補助金を受け転入した人数): 54人



### 【基本目標③】

### 子育てするなら山元町

**結婚・出産・子育ての希望をかなえる**

- 【基本的方向】
- 結婚の希望をかなえる支援
  - 妊娠・出産の希望をかなえる支援
  - 安心して子育てできる環境づくり
  - 親子の健やかな暮らしづくり
  - 子どもの豊かな心の育成と健やかな成長の支援
  - 子どもの人権の尊重と安全・安心のまちづくり
  - 特別な支援が必要な子どもと家庭の支援
  - 魅力ある学校環境の整備

【数値目標】(令和6年度)  
合計特殊出生率: 1.19  
年間出生者数: 54人



### 【基本目標④】

### 未来へつなぐ山元町

ひとが集う、**安心して暮らすことができる魅力的な地域**をつくる

- 【基本的方向】
- 地域資源を活用した観光交流の推進
  - 「小さな拠点」、コンパクトシティ化の推進
  - 郷土愛、生涯学習、教養、文化の土壌形成
  - 地域連携の推進
  - 防災・減災対策の強化
  - 安心して暮らせる地域医療・高齢者・障がいのある方への支援の充実・強化

【数値目標】(令和6年度)  
交流人口: 100万人  
震災前と比較した避難路整備による時間短縮率: 17.4%  
特定健診受診率: 60%

